



2026年 2月12日  
第150号

JR 東労組   
Yokohama

JR東労組横浜地本

発行人 梶田 優一  
編集 情宣 担当  
ホームページ



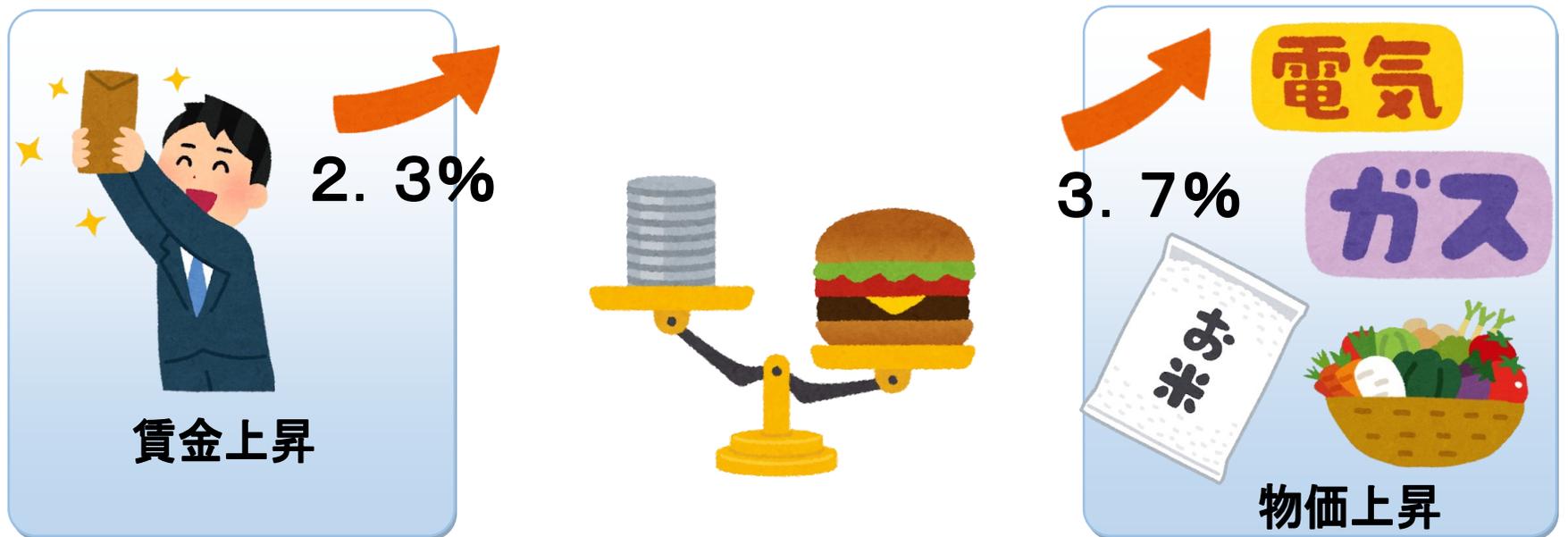
<http://www.jreu-yokohama1.jp/>

# 実質賃金 4年連続 減少

実質賃金とは・・・名目賃金（給料の金額そのもの）を物価の変動で調整した賃金のことを言います。

厚生労働省発表の毎月勤労統計によると、物価上昇率を加味した実質賃金は2025年、前年比マイナス1.3%だったことが判明しました。現金給与総額は35万5919円と前年比2.3%増加したものの、消費者物価指数は前年比3.7%上昇し、物価上昇が賃金を上回り**実質賃金はマイナス**となりました。2025年は、一度も実質賃金が前年同月比でプラスになることはありませんでした。

**実感だけでなく、統計的にも賃金は上がっていない！**



**会社の言う支給額(金額)ばかり見ていると、賃金が上昇していると騙されている！**

4年連続で実質賃金はマイナスとなっています。賃金の額面上は上昇していたとしても、実際は4年連続でマイナスになっていました。これが生活向上を実感しない原因です。金額面が上昇していることに一喜一憂していると、実際は下がっていたのに上がったかのように騙されてしまいます。また、社長名でJR東労組へ「新賃金・夏季手当について」と題した通知が発出されました。1万円の増額は制度見直しに伴う増額であって、**ベースアップとは別物です。**物価高に負けない賃金の獲得！過去最高の働き度に見合った賃金の獲得！安全・安心・ゆとりのある生活を労働者の総団結で勝ち取ろう！

**横浜地本2026春闘総決起集会(仮称)に結集しよう！**